

# ●反射シールで夕方の交通事故防止

なぜ？

秋から冬にかけて、夕方に暗くなるのが早くなります。また、ちょうど9月～10月上旬は、天気も不安定で農作業に追われがちです。実際に、路上での自動車と農業機械の衝突事故が増えています。事故を回避するため、互いの存在に早めに気付くことが重要です。

## ヒヤリ、事故

1. トラクターで路上走行中、後続の乗用車に追突され、トラクターから転落し、腰と左手を強く打ちケガをした。
2. トレーラーにコンバインを積載して路上を走行中、右折しようとしたとき、後続の車に追突されそうになった。
3. 農免道路を横断する時、左方向より車が走行してきていることに気づかず、急ブレーキになった。

そこで…

## 対策ポイント

1. 農業機械の後方、側方に反射シールを貼り付けます。



反射シール

1) 交差点の出会い頭事故防止のため、乗用トラクター側面に反射シール(黄色)を貼り付けた(上写真)。



反射器具

2) 空き缶に反射シールを巻き、針金で機械に後からぶらさげる(上写真)。揺れるので遠くから発見しやすい。

2. 「低速車マーク」を取り付けます(右写真)。



低速車マーク

反射シール

さらに！

## 追加のヒント

1. ヘルメットや作業服にも反射シールを貼って目立ちやすくします。
2. 路上走行の前に、反射シールや灯火類等が、泥で汚れたり、積載した荷物で隠れていないか確認します。